

公益社団法人日本栄養士会栄養ケア・ステーション認定制度規則

公益社団法人 日本栄養士会

公益社団法人 日本栄養士会 栄養ケア・ステーション認定制度規則

公益社団法人 日本栄養士会

制定 平成 29 年 10 月 15 日

施行 平成 30 年 4 月 1 日

第 1 章 総 則

(目 的)

第 1 条 この規則は、栄養ケア・ステーション認定制度（以下「認定制度」という。）の設置及び運営に関して必要な事項を定めることにより、同制度に基づき栄養ケアの業務を行う適格性を有するものとして認定を受けた事業所（以下「認定栄養ケア・ステーション」という。）の適正かつ円滑な発展を確保することを目的とする。

(認定制度の趣旨)

第 2 条 栄養ケア・ステーション事業は、栄養ケア・ステーションを管理栄養士・栄養士の行う栄養ケア業務の地域拠点とすることによって、管理栄養士・栄養士と地域住民の双方向の結びつきを強化し、あまねく地域住民が管理栄養士・栄養士による栄養ケアの支援と指導を受けて生涯にわたる実り豊かで健やかな生活を維持することのできる地域社会づくりを目ざそうとするものである。

認定制度は、この規則に基づき認定を受けた認定栄養ケア・ステーションと公益社団法人日本栄養士会（以下「本会」という。）及び各都道府県栄養士会の設置運営にかかる栄養ケア・ステーションを有機的に連携させることによって、きめ細かく伸びやかな栄養ケアのネットワークを築き、もって栄養ケア・ステーション事業の目指すところの実現に資することをその趣旨とする。

(定 義)

第 3 条 この規則において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

- (1)「認定」とは、特定の事業者（本条第 2 号）が設置運営する特定の事業所（本条第 3 号）であって、広く地域住民に適正な栄養ケアを提供する適格性があると認められるものについて、当該事業所の名称中に「栄養ケア・ステーション」の表記をすることを当該事業者が承諾することをいう。
- (2)「事業者」とは、事業所を設置運営する個人、法人又は団体（法人格のない人の集合体）をいう。
- (3)「事業所」とは、事務所、店舗その他の事業施設であって、そこで行われる主たる業務が栄養ケアであるものをいう。
- (4)「代表者」とは、法人又は団体（法人格のない人の集合体）たる事業者を代表する権限を有する者をいう。
- (5)「責任者」とは、事業所を設置運営する個人又は事業者の従業員であって、事業所における栄養ケアの業務の実施を統括する立場にある者をいう。
- (6)「従事者」とは、事業所において栄養ケアの業務の実務を行う者をいう。

第2章 認定実施機関

(認定実施機関)

第4条 本会は、この規則ならびに関連する諸規則・規程の定めるところにより、認定を行う。

- 2 本会は、認定にかかる業務を掌らせるため、栄養ケア・ステーション認定委員会（以下「認定委員会」という。）を設け、同委員会に栄養ケア・ステーション認定審査会（以下「認定審査会」という。）を置く。
- 3 認定委員会は、広く地域住民その他の認定栄養ケア・ステーションの利用者等の視点に立ってその業務を行い、認定制度の厳正かつ円滑な運用を確保するものとする。
- 4 認定審査会は、栄養ケアに関する専門技術的知見をもって、認定委員会が第5条第1項の業務を適切に遂行するうえでの必要な支援を行うものとする。
- 5 本会は、認定制度の信頼性を不断に向上させるため、同制度の適正な運用と改善に必要な措置を講ずる。
- 6 本会は、認定制度の普及とともに、地域における栄養・食生活支援、在宅療養・介護等への管理栄養士・栄養士の積極的な取り組みの推進に努める。

(認定委員会)

第5条 認定委員会は次に掲げる業務を所掌する。

- (1) 認定の申請があったものについて、認定を相当とするか否かについての意見を議決したうえ、これを本会会長に答申すること
 - (2) 前項の意見を議決するに先立ち、当該申請が、第8条の要件を満たすものであるか否かを審査しその結果を報告するよう認定審査会に命ずること
 - (3) 前項に基づく認定審査会の報告を検討し、当該報告に関し、必要に応じて認定審査会に説明を求め、補充審査又は再度の審査を命ずること
 - (4) 認定の取り消しを本会会長に上申すること、及び、これに必要な調査を行うこと
 - (5) 認定後の認定要件等の遵守につき調査その他必要な措置を講ずること
 - (6) 別に定める認定審査基準の制定・改訂等の承認を行うこと
 - (7) 認定制度の企画・運営の重要事項に関し、本会会長に意見を述べること
 - (8) 認定制度に関する本会会長からの諮問に答えること
- 2 認定委員会は、学識経験者、保健医療従事者、利用者関連団体等の関係者、行政機関関係者、その他からなる委員若干名をもって組織する。
 - 3 認定委員会の委員は、本会会長が任命する。
 - 4 認定委員会は、認定制度に関する意見や提言等をもとに、認定制度をより適正なものとするための検討を行う。
 - 5 前各項に定める外、認定委員会の設置及び運営に関する事項は別に定める。

(認定審査会)

第6条 認定審査会は認定委員会に置く。

- 2 認定審査会は次に掲げる業務を所掌する。
 - (1) 第5条第1項第1号の認定委員会の命に基づき、特定の認定の申請が第8条の要件を満たすものであるか否かを審査し、その審査の結果を認定委員会に報告すること

- (2) 第5条第1項第3号の説明又は補充審査もしくは再度の審査を行うこと
- (3) その他前各号に関連する業務
- 3 認定審査会は、栄養ケア・ステーション事業部担当理事からなる審査員をもって組織する。
- 4 認定審査会を組織する審査員は、本会会長が任命する。
- 5 認定審査会は、厳正に審査を行い、審査の信頼性の確保と向上に努める。
- 6 前各項に定める外、認定審査会の設置及び運営に関する事項は別に定める。

(実施機関の会議)

- 第7条** 認定委員会は、年度ごとに定例会として開催する。
- 2 認定審査会は、年度ごとに定例会として開催する。

第3章 認定

(認定の要件)

- 第8条** 認定は、次の各号（以下「認定要件」という。）を満たした申請に限りこれを行うことができる。
- (1) 事業所は、その主たる業務を別に定める栄養ケアの業務（以下「指定業務」という。）とし、同業務を適正に実施できる体制を備えていること
 - (2) 事業所は、地理的又は施設・設備的に地域住民からのアクセスが容易で、地域住民に第1号の業務を行ううえで適切な環境を確保できること
 - (3) 事業者において事業所の業務を持続的かつ適正に実施できる経済的裏付けがあること
 - (4) 事業所に、業務に従事する管理栄養士を1名以上、専任で配置すること。また、専任で業務に従事する管理栄養士を責任者とする
 - (5) 責任者は、指定業務のうち事業所が現に行おうとする業務について、1年以上の実務の経験があること。
 - (6) 責任者及び従事者は、事業所を設置する都道府県の栄養士会の栄養ケア・ステーションの登録者であること
- 2 前項各号を満たしているか否かの認定は、認定の申請をした者から必要な資料を徴求してこれを行う。

(認定)

- 第9条** 認定は、認定委員会が認定を相当とするとの意見を議決し、これを本会会長に答申したものであることについて行う。
- 2 認定をしたときは、速やかに本会理事会及び各都道府県栄養士会に報告し、各都道府県栄養士会から認定の申請をした者へ通知するとともに、本会のホームページ等にて公開する。

(認定証交付及び再交付)

- 第10条** 認定を受けた事業者には、認定したことを証する認定証（第2号様式）を交付する。
- 2 認定を受けた事業者が、次の各号に該当する場合には、認定証の再交付を申請することができる（第3号様式）。なお、第2号及び第3号の場合は、再交付の申請の際、破損等した認定証を添付しなければならない。
- (1) 認定証を紛失した場合
 - (2) 認定証を破損した場合

(3) 認定証を汚した場合

(認定標)

第11条 認定を受けた事業者は、主たる事業所に認定を受けた栄養ケア・ステーション（以下「認定栄養ケア・ステーション」という。）であることを表示する認定標を掲示しなければならない。

2 認定標の様式は任意とする。ただし、認定標の表記は、「認定栄養ケア・ステーション」の文字を含んだものとし、事前に認定標の表記及び意匠の内容を本会に報告したうえで認定審査会の承認を受けなければならない。

3 前項により承認を受けた認定標は、本会の事前の承認なく、その表記及び意匠の内容を変更してはならない。

(認定に関する情報開示)

第12条 認定を受けた事業者と事業所の名称及び住所、代表者及び責任者の氏名その他必要と認められる事項は、本会のホームページに掲載する。

2 本会は、認定栄養ケア・ステーションに関する情報の照会を受けたときは、認定証の記載事項をもとにこれを開示する。

(認定の有効期間)

第13条 認定は、認定の日から3年間に限りその効力を有する。

(認定の取り消し)

第14条 認定委員会は、認定を受けた事業者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、直ちに本会会長に認定を取り消すよう上申しなければならない。

(1) 申請（認定の更新も含む）に際して偽りを申告又は記載し、その他不正手段を行使したことが判明したとき

(2) 認定要件の欠如又は欠如を来す恐れがあり、相当の期間を定めて改善を求めても、なお改善されないとき

(3) 第24条に定める事業上の遵守事項に反したとき

(4) 法令違反その事業者として信用を損なう行為があったとき

(5) 認定証を不正使用したとき

2 前項の上申を受けた本会会長は、直ちに認定を取り消して、認定取消通知書（第4号様式）をもって当該事業者に通知する。

3 前項の通知を受けた事業者は直ちに認定証を返納するとともに、認定標を廃棄し、事業所の内外の看板、掲示、壁面表記、文書・図画その他の媒体にある「認定栄養ケア・ステーション」の文字を消去又は除去しなければならない。

4 第2項の認定の取り消しを行った本会会長は、直ちにその旨を、本会理事会及び各都道府県栄養士会に報告するとともに、本会のホームページ上に掲載する。

(認定の撤回)

第15条 本会は、次項の届出があったときは、認定を撤回する。

2 認定を受けた事業者が、次の各号に該当するときは、認定証を添えてすみやかにこれを届け出（第5号様式）なければならない。

(1) 認定を辞退する場合

(2) 廃業した場合

3 第1項の認定の撤回があったときは、前条第14条第3項及び第4項の規定を準用する。

(認定の取り消し、撤回の関係官署への報告)

第16条 本会は、第14条及び第15条の規定により認定を取り消し、又は撤回したときは、直ちに関係官署にその事実及びその理由を報告する。

第4章 認定の申請及び審査

(欠格事由)

第17条 認定を申請する事業者が次の各号に該当するときはその申請を受理しない。

- (1) 指定業務に関し、過去に違法又は不正な行為を行ったことにより、法令に基づく処罰又は処分を受けた者
- (2) 認定を取り消され、その取り消しの日から1年を経過しない者
- (3) 法令違反、不正行為その他の信用を失う行為のあったことを理由として法令上の不利益処分を受けてから2年を経過しない者
- (4) 事業者、代表者、責任者及び従事者等が、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団、暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者

(認定の申請の方法)

第18条 認定を申請する事業者は、本条第3項の認定申請受付期間内に、所定の申請書（第1号様式）、別に定める申請書附属書類（以下、申請書及び申請書附属書類をあわせて、「申請書類等」という。）及び事業所を設置する都道府県栄養士会の発行する申請受理証（第10号様式）を、当該栄養士会をとおして本会に提出しなければならない。

- 2 認定を申請する事業者から申請書類等の提出を受けた前項の栄養士会は、申請書類等が整っているか否かを審査し、これに不備がないときは申請受理証を発行するものとする。
- 3 申請書の受付期間は年2回とし、受付開始の少なくとも2ヶ月前までには本会のホームページ上に受付期間を掲載する。

(認定の更新申請)

第19条 認定を受けた事業者が、認定の有効期間満了に際し、引き続き認定を受けようとする場合は、認定の有効期間が満了する日の6ヶ月前までに、前条の規定に基づき事業所を設置している都道府県栄養士会を経由して本会へ、更新申請（ただし、申請書は第6号様式による。）を行わなければならない。

(認定の変更申請)

第20条 既に行った認定の内容にかかわる事項の変更の申請の取り扱いは、第19条の規定を準用してこれを行う。

(届出事項)

第21条 次の各号に掲げる事項に変更があった事業者は、すみやかに変更内容が確認できる書類（法人にあっては登記事項証明書等）を添えて、変更届（第7号様式）を事業所を設置している都道府県栄養士会を経由して本会へ提出しなければならない。

- (1) 事業所の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
 - (2) 認定を受けた事業者の氏名（法人にあっては、名称、代表者・責任者の氏名）
 - (3) 事業所の連絡先、連絡先担当者、電話番号等
 - (4) その他、事業者又はその設置運営にかかる事業所を特定する事項
- 2 内容を変更した認定証（第2号様式）は、申請後1ヶ月以内に発行し、申請者に交付する。
なお、変更後の認定の有効期間は、変更前の残日数とする。

（手数料）

- 第22条** 新たに認定を受けるための申請に要する手数料（申請に要する手数料）は、申請手数料、審査手数料及び認定手数料の3種とし、その金額及び納付先は別に定めるところによる。
- 2 認定の更新を受けるための申請の手数料（認定の更新に要する手数料）は、更新申請手数料、更新審査手数料及び更新認定手数料の3種とし、その金額及び納付先は別に定めるところによる。
 - 3 第20条の認定の変更の申請を行うための手数料（認定の変更申請に要する手数料）は、変更申請手数料と変更事務手数料の2種とし、その金額及び納付先は別に定めるところによる。
 - 4 第21条第1項の届出を行うための手数料の金額及び納付先は別に定めるところによる。
 - 5 第10条第2項に規定する認定証の再交付の申請に要する手数料の金額及び納付先については、前項を準用する。
 - 6 前各項の定めるところにより納付された手数料は理由のいかんを問わず返還しない。
 - 7 前各項に定める外、手数料の取り扱いに関する事項は別に定める。

第5章 認定を受けた事業者の責務等

（認定要件の継続的充足）

- 第23条** 認定を受けた事業者は、認定を受けた後も継続的に認定要件を充足しなければならない（第8号様式）。
- 2 本会会員は、認定を受けた事業者の事業所の業務のあり方が、認定要件又はその趣旨に反し、もしくは、これらに反する疑いがあると認めるときは、直ちにその旨を認定委員会又は本会会長に報告するよう努めなければならない。
 - 3 前項の報告があった場合は、認定委員会においてすみやかに所要の調査を行い、認定要件又はその趣旨に反する事実があると認めるときは、第14条（認定の取り消し）に定める措置を講ずるものとする。

（事業上の遵守事項）

- 第24条** 認定を受けた事業者は、事業を実施するにあたり、次に掲げる事項を遵守しなければならない。
- (1) 法令又は公序良俗に反し、又は反するおそれがある事業を行わないこと
 - (2) 政治活動又は宗教活動を伴う事業を行わないこと
 - (3) 栄養ケアと商品の販売活動とを峻別し、利用者に誤解を与えないようにすること
 - (4) 特定の治療法のみを勧奨するなど偏った情報提供を行わないこと

（事業者の義務）

第 25 条 認定を受けた事業者は、次の各号の義務を負う。

- (1) 毎年 1 回、本会又は事業所を設置した都道府県栄養士会の開催する栄養ケア・ステーション事業に関する講習会に参加すること
- (2) 責任者及び従事者の栄養ケアに関する業務の遂行能力の継続的な維持・向上を図るために必要な措置を講じること
- (3) 毎年 1 回、責任者に、本会又は事業所を設置した都道府県栄養士会が指定する責任者研修会を受講させること
- (4) 毎年 1 回、事業所の事業実績等を、事業所を設置した都道府県栄養士会を通じて本会会長へ報告（第 9 号様式）すること

(協力と協働)

第 26 条 認定を受けた事業者は、指定業務に関し、本会又は事業所を設置し都道府県栄養士会から業務の受託又は共同実施の要請、業務の紹介などがあつたときには、応諾その他積極的にこれに対応するよう努めなければならない。

- 2 認定を受けた事業者は、栄養士会栄養ケア・ステーション及び他の認定栄養ケア・ステーションと連携・協働をはかり、それに必要な体制を整えるように努めなければならない。

第 6 章 認定制度の運用等

(秘密の保持)

第 27 条 認定委員会委員及び認定審査会審査員並びに本会の認定制度実施担当職員は、認定審査及び認定に係る業務等に際して知り得た秘密を関係者以外に漏らし、又は自己の利益のために使用してはならない。また、退任あるいは退職後についても同様とする。

(帳簿の備付け及び保存)

第 28 条 本会に次の各号に掲げる認定の業務に関する書類等を備え、保存する。書類等は、認定を否とする決定を行った日又は認定の有効期間が満了した日から 3 年間保存する。

- (1) 認定の業務に関する以下の事項を記載した帳簿
 - ・ 認定番号、認定年月日、有効期限、審査を行った年月日及び審査結果
 - ・ 認定申請した事業者の名称、所在地
 - ・ 認定申請、更新申請、変更申請、届出及び再交付申請の年月日
- (2) 認定申請書、更新申請書、変更申請書、届出及び再交付申請書並びに添付書類
- (3) 認定を取り消した年月日とその理由
- (4) その他、前各号に付随して必要な書類

第 7 章 その他

(国民の理解と信頼の醸成等)

第 29 条 本会は、この規則で創設する認定制度への国民の理解と信頼を広くかつ厚く醸成するため、同制度の改善その他所要の措置を講ずる義務を負う。

- 2 認定を得た事業者ならびに認定申請中の者は、本会の前項の義務の履行に協力しなければならない。

(規則の変更)

第 30 条 この規則の変更は、本会理事会の議決をもって行う。変更の事実及び内容は遅滞なく各都道府県栄養士会へ報告するものとする。

附 則

この規則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。